

問 1

1. ②	2. ④	3. ②	4. ①
---------	---------	---------	---------

問 2

クローンとは、その種のオスとメスによる生殖活動なしに、ある動物の個体を人工的に作ったもの、つまり他の個体の遺伝的複製をさす。

問 3

人間が神の役割を担うという可能性

または

人間が他の人間を人工的に作り出すことができるという可能性

問 4

クローニングには、大きな設備も膨大な資金も必要とされないから

クローン研究について、推進すべきであるが、慎重に行うべきであると私は考える。

まずデメリットとして、クローン技術で生産した肉の安全性に、多くの消費者が不安を持っていることがある。そのため、せっかくクローン技術で良質の肉を生産しても、売れない可能性がある。また、ヒトを対象としたクローン研究については、生命倫理の観点から反対意見が多い。

しかしメリットとしては、高乳量や高級肉の牛を誕生させることにより、生産性が向上することが期待される。医療の面ではクローン技術により臓器移植用のスペアの臓器を製作することにより、これまで救えなかった多くの患者の治療に道を拓く可能性がある。

したがって、家畜を対象とした研究では生産した肉が食べても安全であることを消費者にわかりやすく説明し、ヒトを対象とした研究では生命倫理の観点から充分検討した上で、研究を遂行していく必要があると考える。